

# レポートの書き方が分からない！

～文章を書くことが苦手な方へ～

## 1. 「『レポート』って言われても何も分からない！」

大学に入って初めてレポートを書く人も多いと思います。初めてすぎて「何をどうしたらいいのか分からない！」ということもあるかもしれません。

今のうちにレポートの基礎をしっかり押さえて、「レポートを上手に書く能力」を手に入れましょう！

## 2. レポートって何さ？

本来、レポート (*report*) という英単語は「報告する」「伝える」という意味ですよね。

ここから、レポートは「(1) 誰かに (2) ひとつのまとまった内容を (3) 報告する・伝える」ものだと考えられます。大学の授業のレポートなら、「(1) 担当教員に (2) 自分の授業に対する理解・調べたこと・考えたことを (3) 報告する・伝える」といえます。

つまり、**伝わらなければ意味がない**のです。レポートは、人に読まれて、チェックを受ける。まずはそのことを意識してみましょ。例をみてください。

**Ex】** カレーは美味しい。

私はカレーが好きなので、この例文は正しいと思います。でも、世の中にはカレーが嫌いな人もいます。カレーが嫌いな人にこの例文を読んでもらいましょ。きっと、「そんなことはない。カレーは美味しくない！」と言うと思います。

普段の会話であれば、カレー好きの私は「え、でも、カレーって食堂でも人気メニューじゃん」などと反論していくでしょう。そこで、上の例文に書き足してみましょ。

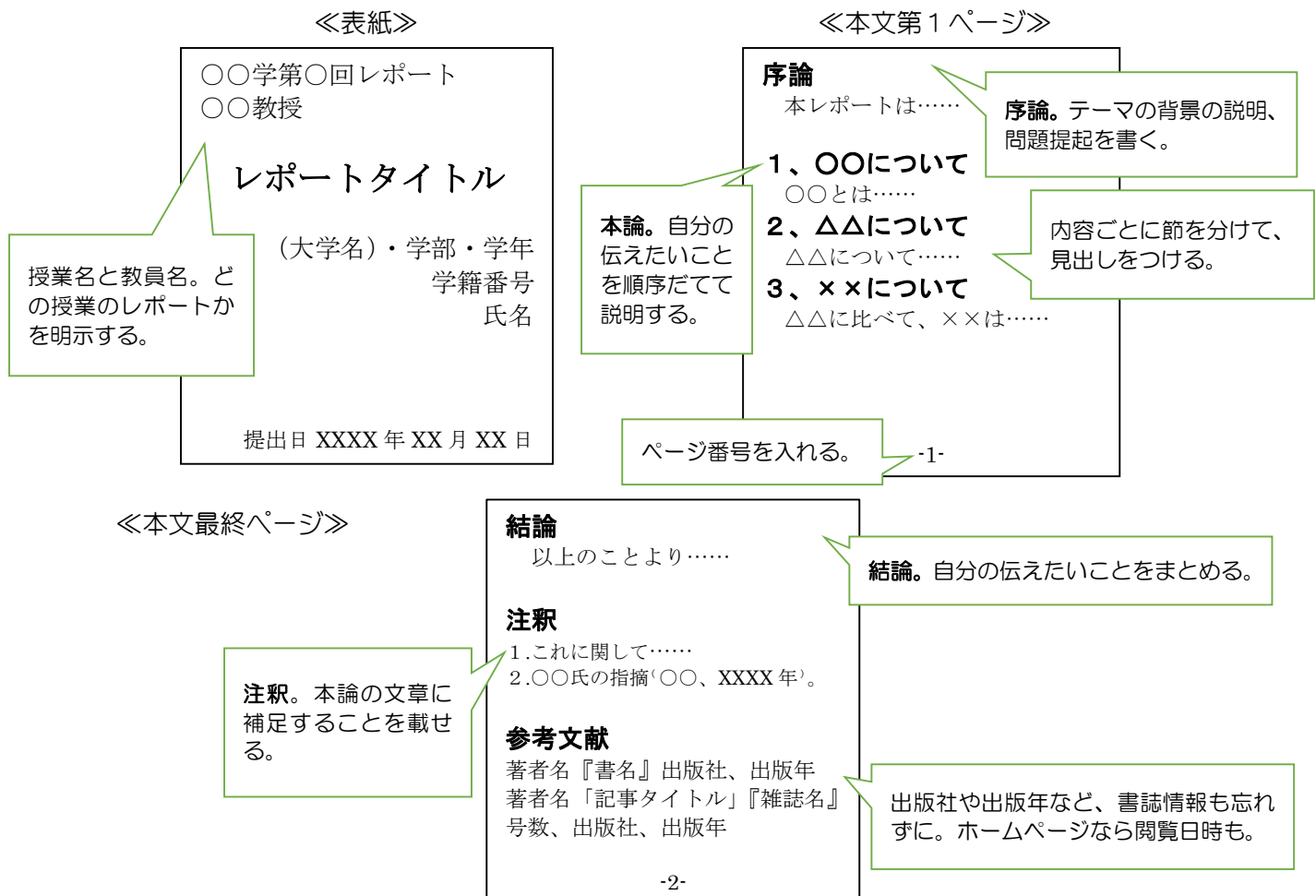
**Ex】** カレーは美味しいのだろうか。(仮説)  
カレーは食堂の人気メニューである。(論拠)  
よって、カレーは美味しい。(結論)

ちょっと文が増えました。普段の会話なら、あとから付け足す「カレーが美味しいと私が思う理由」と一緒に書いてみました。このように、順序だてて説明し、相手に伝えるのがレポートなのです。

勘の良い人は、「人気メニューだからといっておいしいとは限らないよね」と思うでしょう。そうやって考えを深めていけば、レポートの内容をより説得力があるものにできます。

### 3. レポートの大枠

レポートには、決まった体裁はありません。学問分野によっても違います。だから、**まず授業をよく聞くことが大切です**。ここでは、特に授業で指示がなかった場合の、一般的な構成例を紹介します。



### 4. いざ、レポートへ！

レポートについて、少しはイメージを持つことができたでしょうか。案ずるより産むが易し。まずは、最低限のことに注意しながら、レポートにとりかかってみましょう。



#### ◎学習支援センター(SLAサポート)では……

SLAによるライティングサポートは、ただ単に「添削」をするのではなく、後輩学生の皆さんのそれぞれの状況に合わせた対応をしています。

○レポートがどんなものなのか、見本をみてみたい。

○参考になる本が知りたい。

○レポート作成について、何から始めればよいか知りたい。

などなど、困ったことがあったらまずは SLA を訪ねてみてください！



☆今日のこぼれ話☆ 本通信は、昨年卒業した先輩 SLA が企画・進行していたもので、SLA メンバーの皆さんの協力により実現することができました。筆者は最終段階で関わらせていただきました。筆者も大学に入学したばかりの頃、レポートの書き方がわからず悩んだことがあったので、同じような悩みを持っている後輩学生の皆さんのお手伝いができれば幸いです。